

けんすけタイムズ
kensuke Times愛知 13 区
安城・刈谷・碧南・知立・高浜

タイトル

自民党裏金問題

LINE
公式アカウント

衆議院議員

おおにし健介

「国民は増税、自民は脱税」を許さない!



派閥パーティーの収入の一部を政治資金収支報告書に記載していなかった「裏金問題」、この何が問題なのかを改めて整理したいと思います。

一言で言えば「国民にお願いしておきながら議員だけは特別扱いというのは許されない」と言うことだと思います。

老夫婦でやっているような小さな商店でも領収書を一枚一枚保管してきちんと帳簿をつけているのに、議員は政治資金の入りと出を収支報告書に正確に記載しないでも許されるはずありません。

そして、今は確定申告のシーズンですが、領収書のない支出、使途不明金は経費として認められず課税対象になるのが世間の常識です。ところが、議員は領収書がなくても政治資金だと言えば税金を払わずに済むというのでは、納税者の納得は得られないのは当たり前です。

私は、政治活動に使用したことを証明できない以上、「裏金」はすべて雑所得として追加納税すべきだと思います。約 60 年前には、国会での追及を受けて、現職と前職あわせて 203 名の修正申告・更正決定が行われた例があります。

また、少なくとも全額政治活動に使ったと言うのであれば、政治倫理審査会の場に出てきて正々堂々、自ら説明をすればよいと思います。裏金を受け取った議員のうち立件されたのはごく一部ですが、本来、すべての議員が説明責任を負っているはずであり、全員が政倫審に出てきて、公開の場で説明すべきだと思います。

それを拒否するのであれば、予算委員会での証人喚問等に進まなければならないようになりますが、本来は、予算委員会の重要な審議時間をこれ以上使うべきではないと思います。拒否するのは、やましいことがあるからに他ならないと思います。

裏金は、文字通り用途を表に出せないお金であり、選挙で地方議員に配ったり、クラブでの遊興費に使われた疑いがあります。

岸田総理は、指導力を発揮し、自民党議員に対して、追加納税と国会の場での説明責任を果たすよう指示すべきだと思います。

しかし、岸田総理は、89 年に自民党が定めた政治改革大綱に反し、派閥会長に居座り、総理就任後も大臣規範に反して大規模パーティーを繰り返すだけでなく、私が予算委員会で追及したように脱法パーティーまで行っており、政治刷新を語る資格はありません。

昨年 10 月からインボイスが始まり、防衛増税や子育て支援のための保険料への上乗せ負担、事実上の子育て増税が控える中、「国民は増税、自民は脱税」を許してはなりません。

野田元首相が「汚れた雑巾で汚れは落ちない」と言ったように、自民党政権の下で長年続いてきた派閥政治、世襲政治、そして金権政治に終止符を打つための最良の処方箋は、政権交代です。



能登半島地震 被災地でボランティア活動を行いました。



2月10・11日と、私は、愛知県が対口支援（大規模災害で被災した自治体のパートナーとして、特定の自治体を割り当てて復興の支援をする手法）を行っている石川県志賀町に行き、現地で開催するNPO法人「愛知ネット」と一緒にボランティア活動に行ってきました。

現地では、炊き出しや民家の壊れたブロック塀の撤去等を行いました。また、志賀町役場で、稲岡健太郎町長と会談し、義援金を届けてきました。

北部の富来（とき）地区の被害状況を歩いて見て回りましたが、やはり古い木造の建物が倒壊または大破していました。

碧海5市でも南海トラフ地震に備えて、あらためて、木造住宅を耐震化する補助の拡充等の政策が重要と感じました。

また、輪島市の中心部では、店舗や住宅など200棟以上が焼ける大規模火災が起きました。断水のため消火栓が使えず、道路が陥没したり倒れてきたものでふさがったりしている中では応援の消防車両もすぐには駆けつけられず、火が一気に燃え広がっていったということです。碧海5市でも狭あい道路の解消は大きな課題です。

ちなみに、輪島市にある白米千枚田には、かつて10年にわたり、安城東高校が修学旅行で訪れ、草刈ボランティアを行ったことから、安城と輪島には市民間の交流があります。1月下旬には安城東高校同窓会有志が支援物資を届けましたが、今後も安城の皆様とともに輪島への息の長い支援を行っていきたいと考えています。

さらに、金沢市に隣接する内灘町では、液状化による家の沈下や道路の隆起などで大きな被害が出ています。碧南市南部は、南海トラフ地震で液状化被害が発生する恐れがあり、また、臨海工業地帯には、多くの企業が立地しています。

能登半島地震では、被害の大きかった地域につながる主要道路が寸断され、その中には、緊急輸送道路も多く含まれ、救助活動や物資輸送が滞る要因となりました。高浜市や碧南市に向かう国道247号・港南1号線は緊急輸送道路に指定されていますが、路線強化や代替ルートの確保を含めた再点検が必要です。

志賀町でも北部では断水が続いており、私たちが炊き出しを行った富来地区の避難所にも仮設トイレが設置されていましたが、清潔とは言えず、使用禁止の張り紙がしてあるトイレもありました。

私も関わって、刈谷市が所有するトイレトレーラーを能登町の鶴川小学校の避難所に派遣していただきました。全国の自治体がトイレトレーラーを所有し、平時はイベントや防災訓練で使用して、大規模災害が発生した時には派遣する仕組みが有効であることが改めて証明されました。

刈谷市以外の碧海5市でもトイレトレーラーの導入を検討して欲しいと思います。導入には、緊急防災・減災事業債やふるさと納税（クラウドファンディング）が活用可能です。



Profile



- ▶昭和46年4月13日生まれ ▶京都大学 法学部卒
- ▶党務では、選対委員長、青年局長などを経て、現在は政務調査会会長代理（筆頭代理）次の内閣 NC ネクスト内閣官房副長官
- ▶国会では、予算委員会、厚生労働委員会、情報監査審査会
- ▶小学生、中学生2人の男の子のパパ。ニックネームは「オニケン」
- ▶国会職員、在アメリカ大使館二等書記官、衆議院議員 馬淵澄夫政策担当秘書を経て、平成21年第45回衆議院議員総選挙で初当選。以来、連続5期当選。